第３回区政モニターアンケート結果

令和５年９月実施

1. 調査目的

■「世田谷区のグリーンインフラの取り組みについて」

土木部　豪雨対策・下水道整備課

世田谷区では、世田谷区環境基本計画（後期）において、「環境共生都市せたがや」を掲げ、豪雨対策やヒートアイランド対策等に取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、豪雨対策では、河川・下水道管理者である東京都と役割分担の上、世田谷区では雨水を一時的に貯留・浸透させることにより、大量の雨水が一気に河川や下水道等に流入することを抑制する「流域対策」を行っています。

また近年ではグリーンインフラを取り入れた流域対策や健全な水循環の形成などを推進・促進しています。今回は、区民のグリーンインフラに関する認知度や要望、イメージなどについて把握し、今後の施策の検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施いたしました。

■「区立小学校プールの共同利用について」

教育政策・生涯学習部　教育環境課

区立小学校は昭和３０～４０年代に集中的に建設されており、築５０年以上の建物を有する小学校は２７校（全体の４４％）となって、老朽化が進んでいます。学校施設の改築・改修は財政的にも大きな負担となっており、中でも屋外プールは風雨や紫外線にさらされ劣化が進みやすく、維持管理コストもかさんでいます。

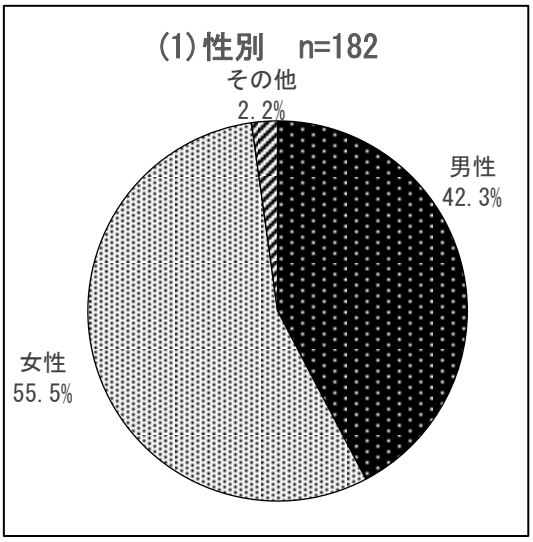
現在は一部の学校を除き屋外プールを設置していますが、使用期間が夏季のみに限定されており、使用期間内でも天候や気温により使用できないことがあります。

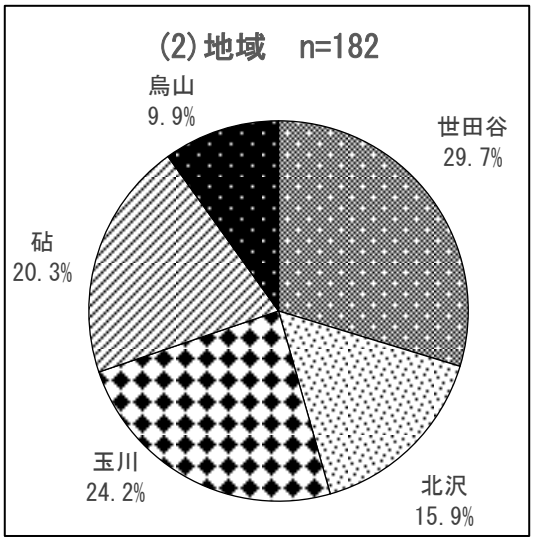
このため学校改築を機に現在のように屋外プールを全小学校に整備するのではなく、徒歩圏の中で拠点となる学校に新たな屋内温水プールを整備し共同利用するとともに、共同利用に適さない改築校には暑熱対策を施した屋外プールを整備するなど、新たな整備手法を検討するあたり、その検討資料として、区政モニターアンケートを実施いたしました。

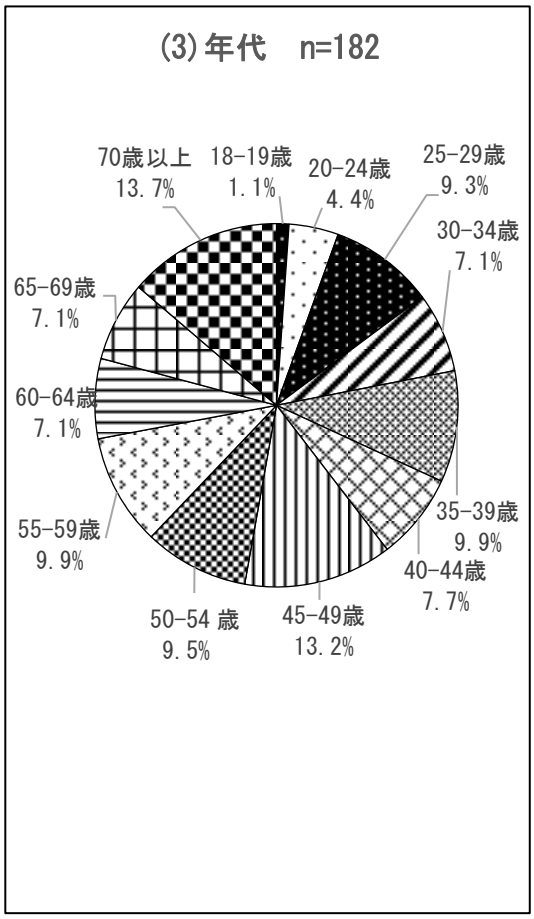
2. 調査設計

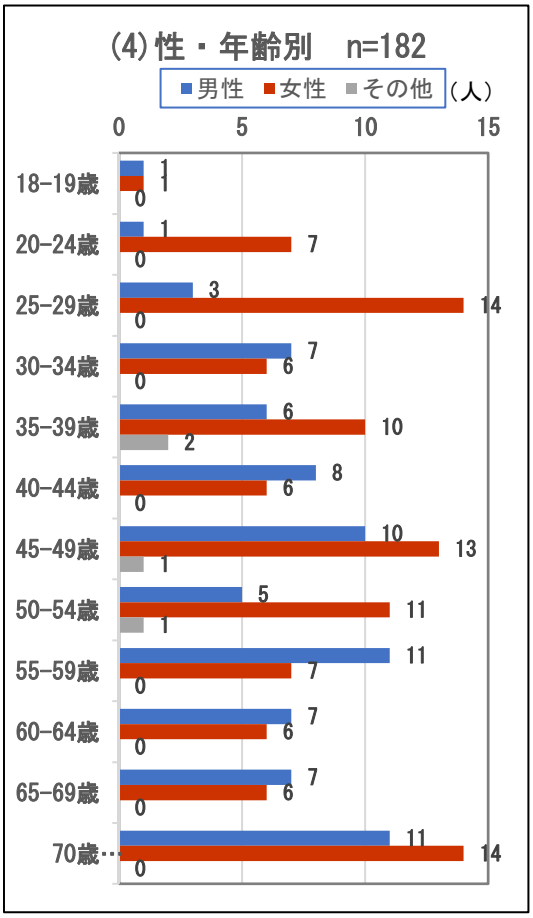
(1) 調査対象　　第 20 期区政モニター
(2) 対象数　　198 人
(3) 調査方法　　郵送配布・郵送回収法又は E メールによる送信・
　　インターネットによる回答
(4) 調査期間　　令和 5 年 9 月 5 日から 9 月 19 日
(5) 有効回答数　182 人（回収率 91.9%）
　数値の見方: 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 182 である。
　　※n 値とはサンプル数（アンケート回答件数）

3. 標本構成


(1) 性別　n=182
その他
2.2%
男性
42.3%
女性
55.5%


(2) 地域　n=182
烏山
9.9%
世田谷
29.7%
砧
20.3%
玉川
24.2%
北沢
15.9%


(3) 年代　n=182
70歳以上
13.7%
18-19歳
1.1%
20-24歳
4.4%
25-29歳
9.3%
30-34歳
7.1%
65-69歳
7.1%
60-64歳
7.1%
55-59歳
9.9%
35-39歳
9.9%
40-44歳
7.7%
50-54 歳
9.5%
45-49歳
13.2%

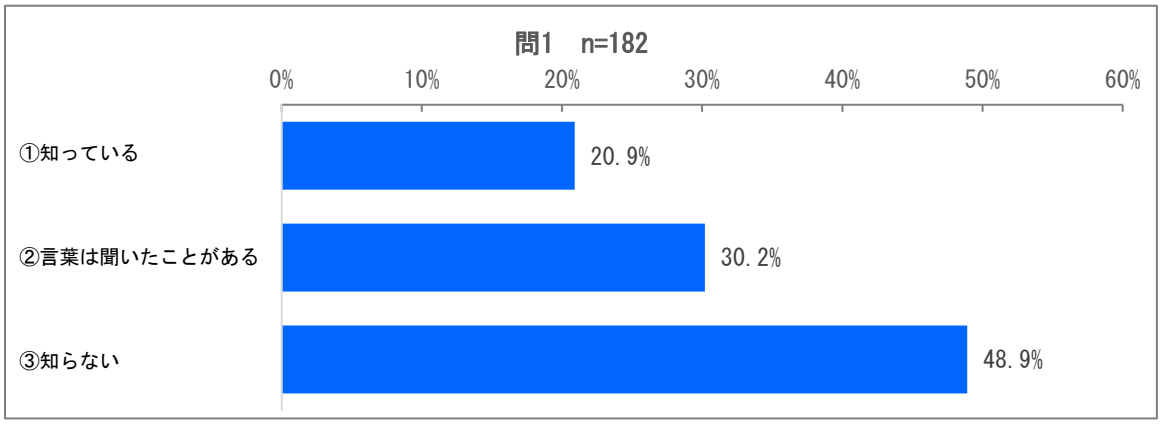

(4) 性・年齢別　n=182
男性
女性
その他
(人)
0
5
10
15
18-19歳
20-24歳
25-29歳
30-34歳
35-39歳
40-44歳
45-49歳
50-54歳
55-59歳
60-64歳
65-69歳
70歳…

4. 質問と回答

■「世田谷区のグリーンインフラの取り組みについて」

問１　グリーンインフラという言葉を知っていますか。（○は１つ）

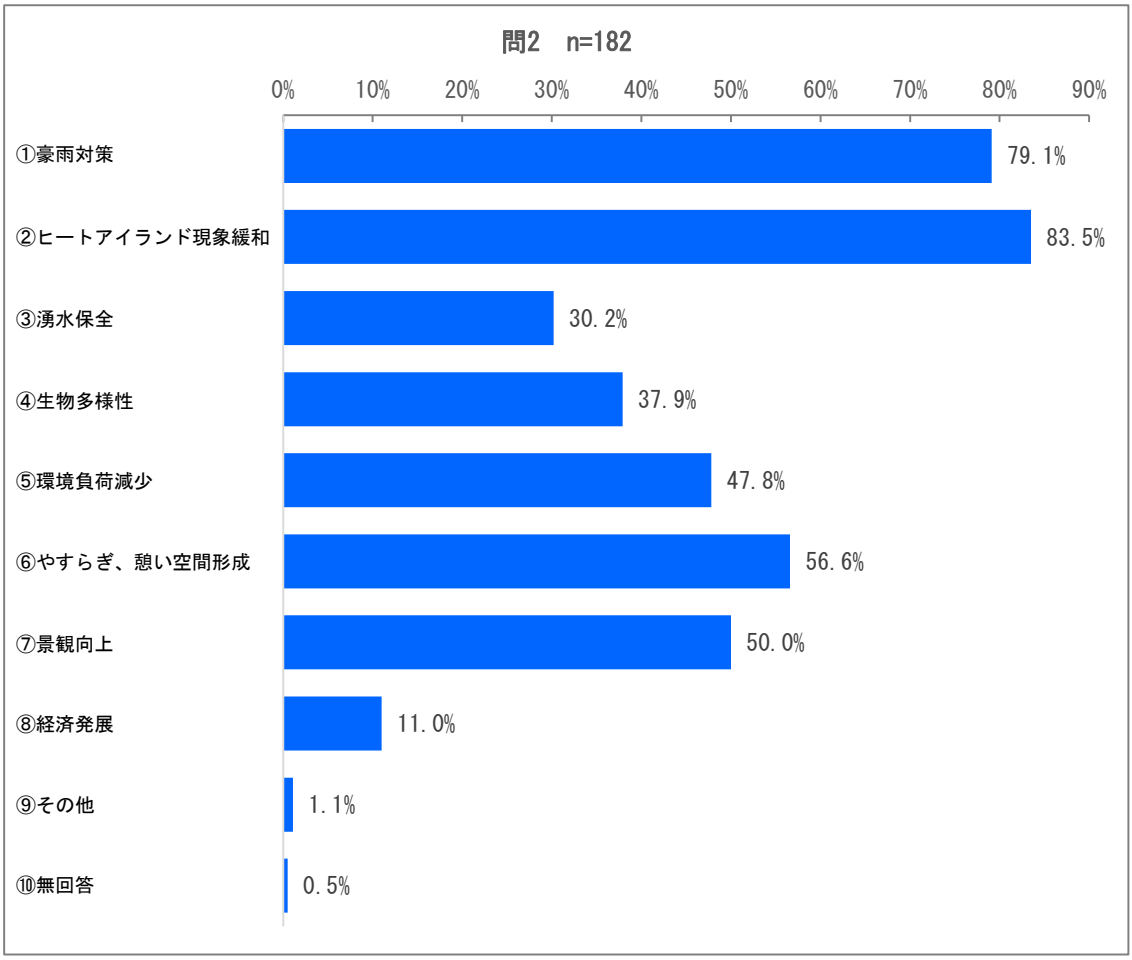
※グリーンインフラ・・・みどりやみずなどの自然の持つさまざまな機能を積極的に活用することで、雨水の貯留・浸透、流出抑制、水質浄化、利活用、地下水涵養（降雨などが、地中に浸透して地下水が補給されること）、緑化、ヒートアイランド対策などを行う都市基盤（インフラ）や考え方のこと



＜調査結果＞

グリーンインフラという言葉の認知度は、「知らない」(48.9%)が５割近くと最も多く、次いで、「言葉は聞いたことがある」(30.2%)、「知っている」(20.9%)の順となっている。

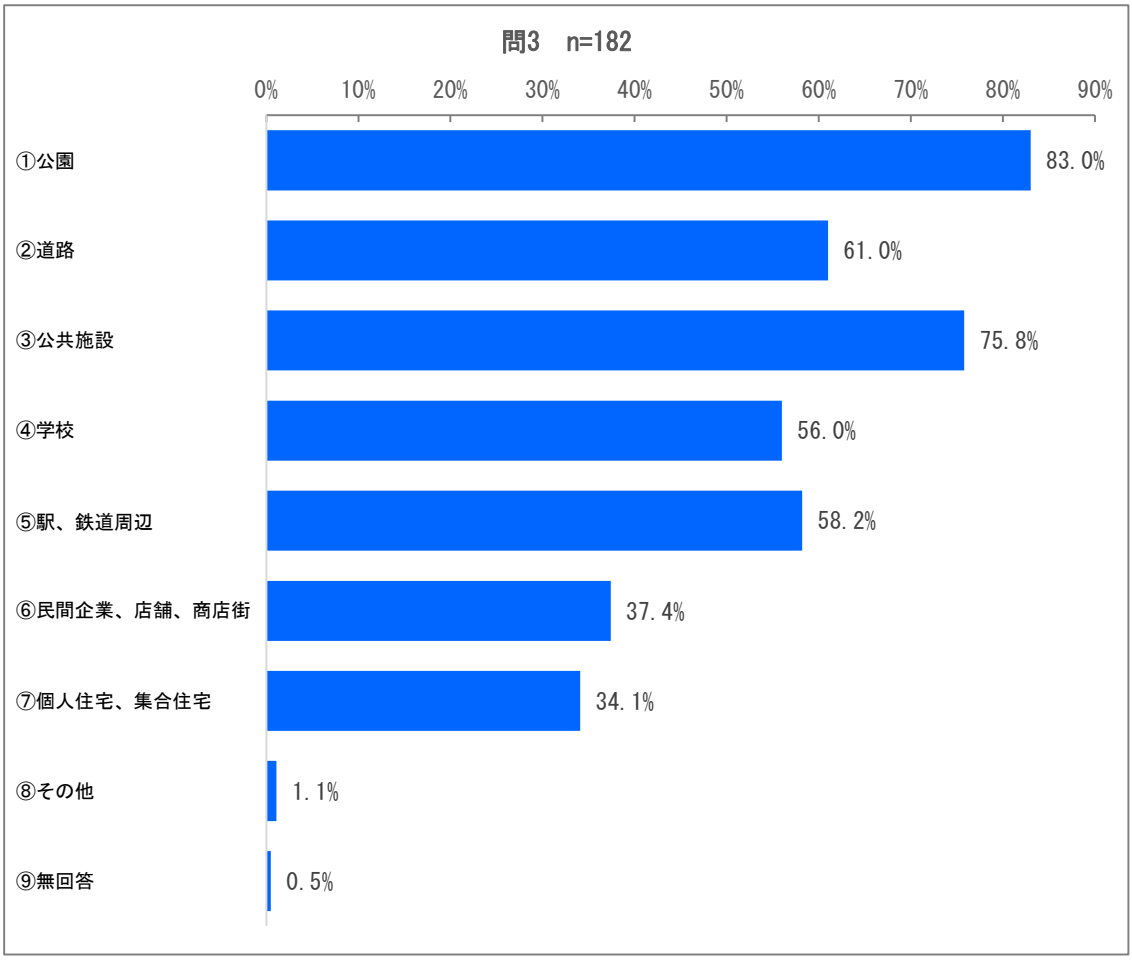
問２　グリーンインフラに期待するもの（メリット）は何ですか。
（○はいくつでも）



＜調査結果＞

グリーンインフラに期待するもの（メリット）を聞いたところ、「ヒートアイランド現象緩和」(83.5%)が８割を超え最も高く、次いで、「豪雨対策」(79.1%)、「やすらぎ、憩い空間形成」(56.6%)などと続く。

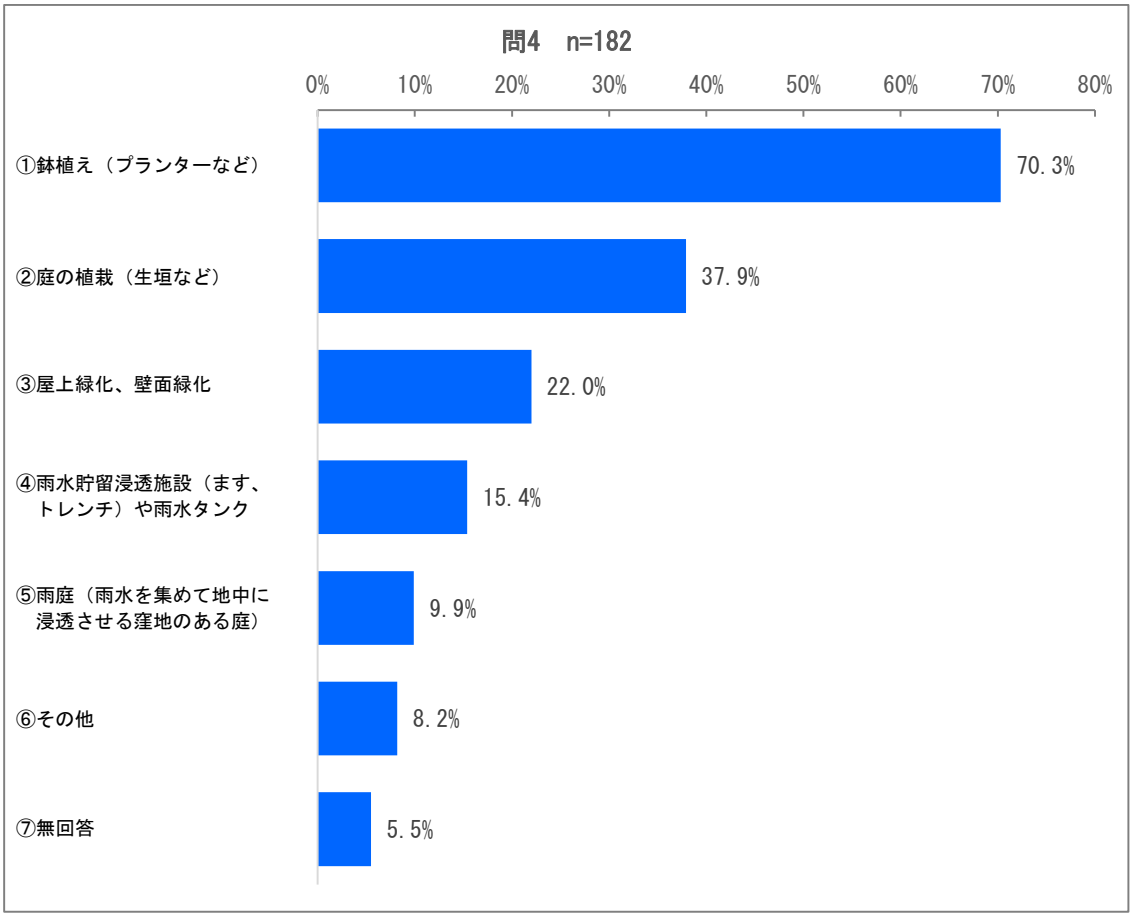
問 3　どのような場所を中心にグリーンインフラを進めていくと良いと思いますか。（○はいくつでも）



＜調査結果＞

どのような場所を中心にグリーンインフラを進めていくと良いと思うかを聞いたところ、「公園」（83.0%）が 8 割を超え最も高く、次いで、「公共施設」（75.8%）、「道路」（61.0%）などと続く。

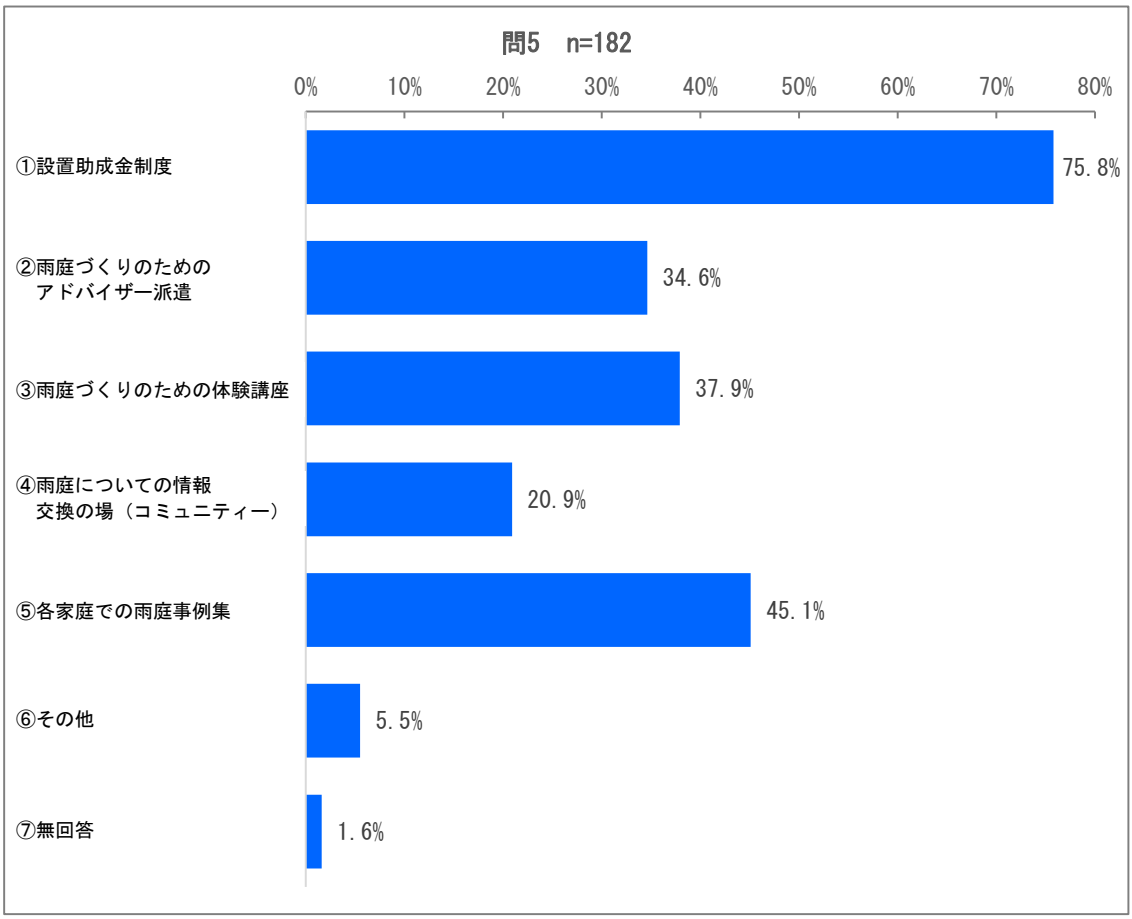
問 4　グリーンインフラのうち、ご自身で今後取り入れていきたいものはありますか。（○はいくつでも）



＜調査結果＞

グリーンインフラのうち、ご自身で今後取り入れていきたいものはあるかを聞いたところ、「鉢植え（プランターなど）」（70.3%）が 7 割で最も高く、次いで、「庭の植栽（生垣など）」（37.9%）、「屋上緑化、壁面緑化」（22.0%）などと続く。

問 5　グリーンインフラ施設のひとつである雨庭をご自宅でつくる場合、どのような制度があれば活用したいと思いますか。（○はいくつでも）



＜調査結果＞

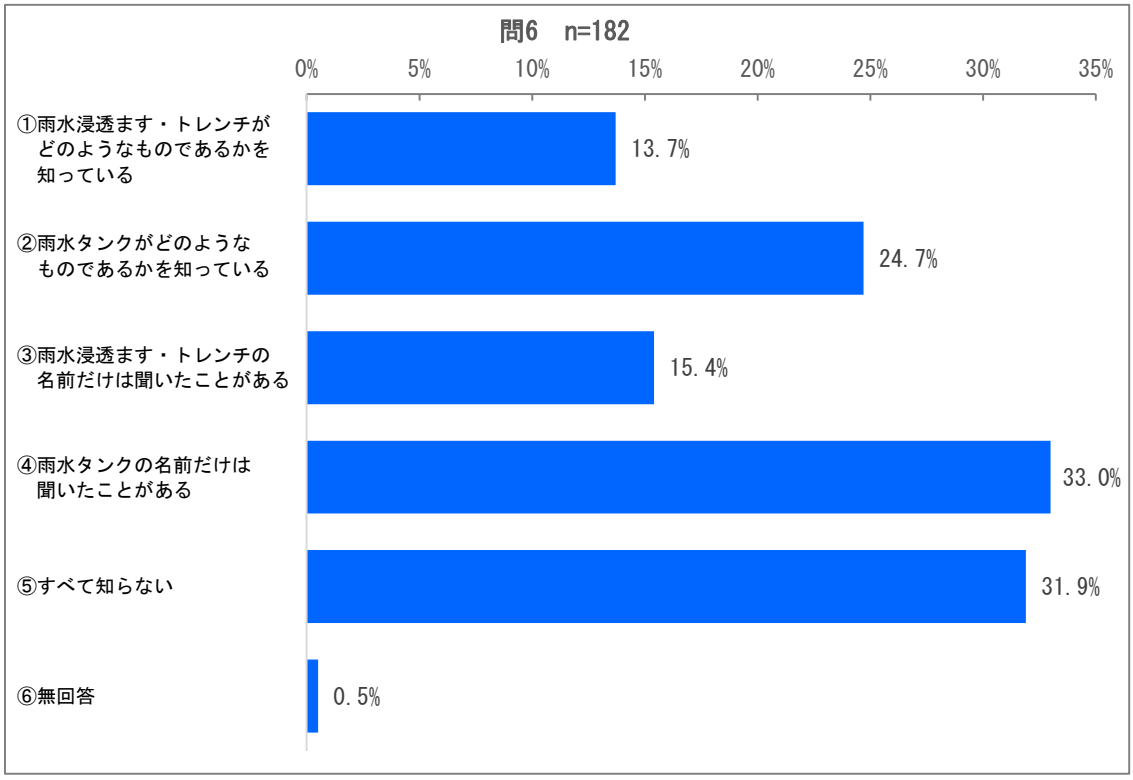
グリーンインフラ施設のひとつである雨庭をご自宅でつくる場合、どのような制度があれば活用したいと思うかを聞いたところ、「設置助成金制度」(75.8%)が 7 割半ばと最も高く、次いで、「各家庭での雨庭事例集」(45.1%)、「雨庭づくりのための体験講座」(37.9%)などと続く。

問６　世田谷区では雨水を一時的に貯留・浸透させることにより、大量の雨水が一気に河川や下水道等に流さないように、公共、民間を問わず、雨水貯留浸透施設の設置を進めています。雨水貯留浸透施設である雨水浸透ます・雨水浸透トレンチや雨水タンクを知っていますか。（○はいくつでも）

※雨水浸透ます・・・側面や底面に多くの穴があり、流入した雨水を地中に浸透させる「ます」

※雨水浸透トレンチ・・・たくさんの穴が開いている「管」

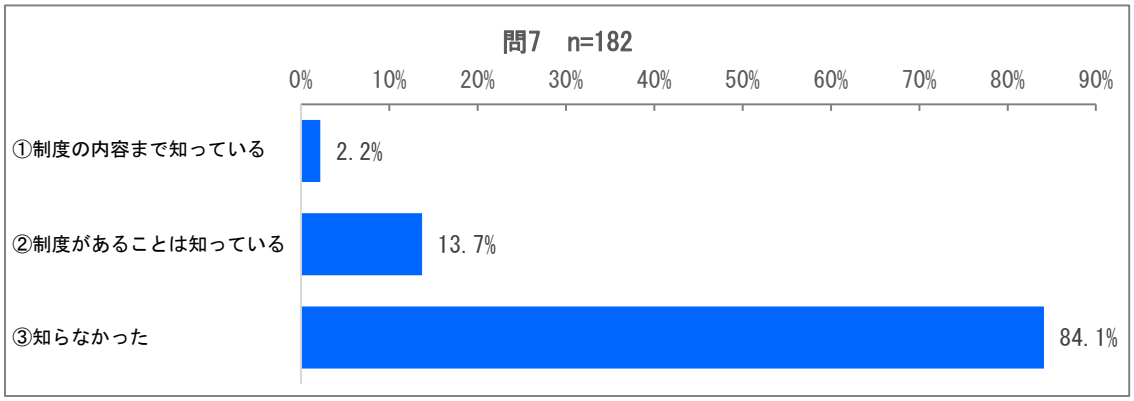
※雨水タンク・・・雨水を利用するために、屋根に降った雨水を貯めるための「タンク」



＜調査結果＞

雨水貯留浸透施設である雨水浸透ます･雨水浸透トレンチや雨水タンクを知っているかを聞いたところ､「雨水タンクの名前だけは聞いたことがある」(33.0%)が３割を超え最も高く、次いで、「すべて知らない」(31.9%)、「雨水タンクがどのようなものであるかを知っている」(24.7%)などと続く。

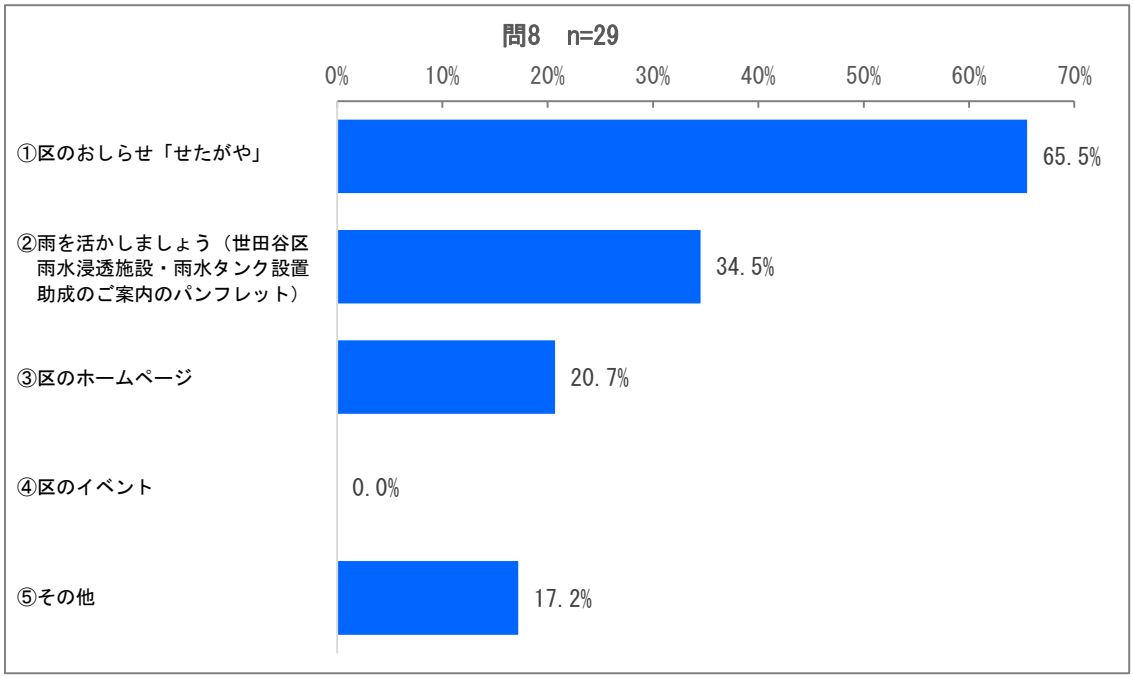
問 7　世田谷区では、ご所有の敷地に雨水浸透ますや雨水浸透トレンチを設置する際に雨水浸透施設設置費用の助成、雨水タンクを設置する際に雨水タンク設置費用の助成を行っております。雨水浸透施設や雨水タンクの設置費用の助成制度がありますが、知っていますか。（○は１つ）



＜調査結果＞

雨水浸透施設や雨水タンクの設置費用の助成制度を知っているかを聞いたところ、「制度の内容まで知っている」(2.2%)と「制度があることは知っている」(13.7%)と合わせて、「知っている」は 15.9%と 1 割半ばにとどまっている。

問 8　問 7 で「1. 制度の内容まで知っている」または「2. 制度があることは知っている」と回答した方にお聞きします。世田谷区雨水浸透施設・雨水タンク設置助成制度は何で知りましたか。（○はいくつでも）

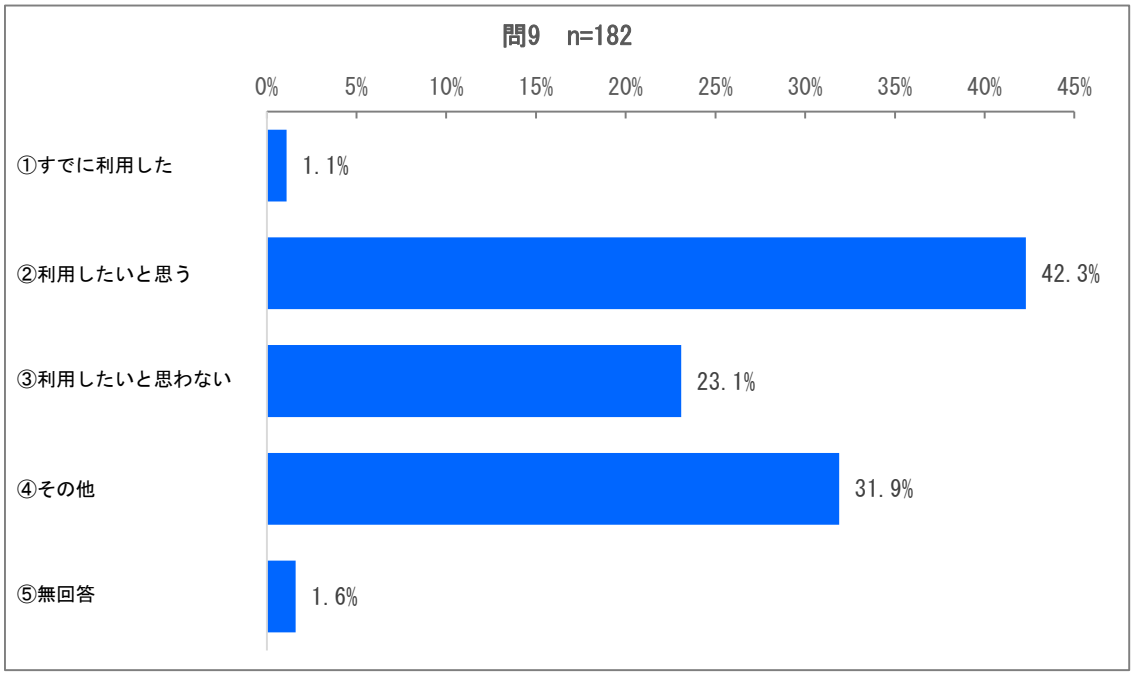


＜調査結果＞

雨水浸透施設や雨水タンクの設置費用の助成制度を知っている方に、世田谷区雨水浸透施設・雨水タンク設置助成制度の認知経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」」（65.5%）が 6 割半ばで最も高く、次いで、「雨を活かしましょう（設置助成の案内のパンフレット）」（34.5%）、「区のホームページ」（20.7%）などと続く。

※なお、基数（n）が 30 に満たないため、参考値とする。

問 9　雨水浸透施設・雨水タンク設置費用の助成制度について、ご所有の敷地において助成制度を活用したいと思いますか。（○は１つ）



＜調査結果＞

雨水浸透施設・雨水タンク設置費用の助成制度について、ご所有の敷地において助成制度を活用したいかを聞いたところ、「利用したいと思う」(42.3%)が４割を超え最も高く、次いで、「その他」(31.9%)、「利用したいと思わない」(23.1%)と続き、「すでに利用した」は1.1%にとどまる。

問 10　世田谷区では、雨水浸透施設・雨水タンク設置助成制度を積極的に活用していただきたいと考えています。活用したいと思う条件や問 9 で「3. 利用したいと思わない」もしくは「4. その他」と回答した理由をご記入ください。（記述回答）

▼活用したいと思う条件

費用面について（全 11 件）

（主な意見）

○　経済的にマイナスとならないこと。

○　将来的なメンテナンスコストが明確なこと。

周知・広報について（全 7 件）

（主な意見）

○　自分の土地が対象内外か判別できないため、何らかの分かる工夫（地図でマッピングするなど）があるとよい。

○　設置に必要な広さ、地質などの条件を広報してほしい。

その他（全 11 件）

（主な意見）

○　手続きが簡単なこと。（他 1 件）

○　豪雨対策に寄与できること。

○　目に見える設備が露骨にならないこと。

○　近隣住民への広報活動と理解。草木や落ち葉などは邪魔扱いする人への啓蒙。

▼「3.利用したいと思わない」を選択した理由

住環境により難しい（全 28 件）

（主な意見）

○ 庭付きの戸建ではないので、利用したくとも出来ない。マンションのベランダでもできる取り組みがあれば是非利用したいと思う。

○ マンションのため個別では難しいですが、マンション全体で参加できる仕組みがあればより効果的かと思われます。

○ 敷地が狭いため、土地の確保が難しいと考えます。

面倒・手間がかかる（全 8 件）

（主な意見）

○ 設置場所の確保やメンテナンス、工事など面倒な事が増えるから。

○ 時間をとって作業をする手間を考えると気が引けてしまう。現段階で自身が雨水で困っている経験がない為、必要性が感じられないので。

虫の発生が不安（全 6 件）

（主な意見）

○ 住宅の近くに蚊（ボウフラ）の発生源となる水辺を増やしてほしくない。

○ 水があることで虫が寄ってきたりしそうだから

その他（全 5 件）

（主な意見）

○ 家庭用の小規模なものは、その効果に疑問があるため。

○ 雨水タンクの見た目が好ましくない。

▼「4. その他」を選択した理由

住環境により難しい（全 40 件）

（主な意見）

○　賃貸・集合住宅のため設置が難しそう。（他 33 件）

○　設置場所の余裕がない。（他 5 件）

詳しい情報が欲しい（全 13 件）

（主な意見）

○　助成制度や金銭的負担を良く理解した上で考えたい。（他 5 件）

○　狭い自宅の敷地でもこんなふうに設置できます等の実際の設置イメージを目視できる場や、アドバイスなどのコミュニケーションの上、前向きに考えたいと思っています。

○　実際に見たことや設置してある場所を知らないので、イメージが湧かない。どのくらいの大きさなのか、耐久性はあるのか、見当がつかない。

その他（全 6 件）

（主な意見）

○　蚊等の虫がわかないか不安（他 1 件）

○　必要性を感じない（他 1 件）

問 11　近年、地球温暖化等気候変動への取り組みとして、グリーンインフラの整備に対する気運が高まってきています。豪雨対策やヒートアイランド対策等の一環として、グリーンインフラのあり方を検討していくため、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。（記述回答）

周知・広報について（全 31 件）

（主な意見）

○ 積極的にイベントで啓蒙を図っていただきたいです。助成について初めて知りましたが、そのような区の取り組みはもちろん、グリーンインフラ自体をもっと身近に感じられるとよいと思います。

○ 自分事として考えられるよう、誰しもが痛感する問題を取り上げること等を通じ、施策を展開すると良いと思う。

○ 豪雨対策やヒートアイランド対策の必要性をもっと区民に知ってもらうよう、働きかけの強化をする必要があると思います。私の周りには、このような環境問題を真剣に考えている人は少ないです。

整備手法について（全 23 件）

（主な意見）

○ 区の施設や学校などの公共施設でグリーンインフラの整備を進めて欲しい。（他 12 件）

○ 公園、街路樹の緑を増やして欲しい。（他 2 件）

○ 町会の垣根を越えて、地域を巻き込んだ取り組みが必要なのでは。

ヒートアイランド対策について（全 13 件）

（主な意見）

○ 夏場の道路の照り返し、熱のこもりなどを少しでも解消するために、グリーンインフラの整備は必要だと思う。

○ 年々夏の気温が高くなっていくと言われ、水不足、冷房などの多くの使用による電力不足などを考えると、世田谷区としてもっとグリーンインフラに取り組んでいただきたい。

制度にについて（全 11 件）

（主な意見）
○ 新しい建築物に屋上緑化等を義務付ける（他 3 件）
○ マンションなど集合住宅での施策があれば、積極的に活用していきたい。

維持・管理にについて（全 11 件）

（主な意見）
○ どの対策も導入時だけではなく、維持、メンテナンスの事も提案してもらえるともっと手が挙がっていくのではないかと思います。
○ 緑を増やすことには賛成ですが、管理が間に合っていない箇所が散見されます。

助成にについて（全 9 件）

（主な意見）
○ グリーンインフラの助成を積極的に行う事が重要かと思います。短期的に効果が見えにくいが費用がかかるため、助成金があれば企業や民間が参加しやすいかと思いました。
○ マンションを建てるときに専有部の一部を緑地化すると助成金が出る、雨水タンクを設置すると管理費が安くなるなどの助成があると良い。

豪雨対策について（全 6 件）

（主な意見）
○ 水が下に通りやすいアスファルトを使用する。簡単な雨水タンクの使用に慣れてもらうために、希望する人に配る。
○ 冠水の発生しやすい道路には、標識並びに告知をガードレールに色で表示したらと思います。

その他（全 14 件）

（主な意見）
○ 地域の防災対策との関連を明確にすることが必要。
○ 子どもたちの自然学習の場ともなるような副次的な活用も期待したいで

す。

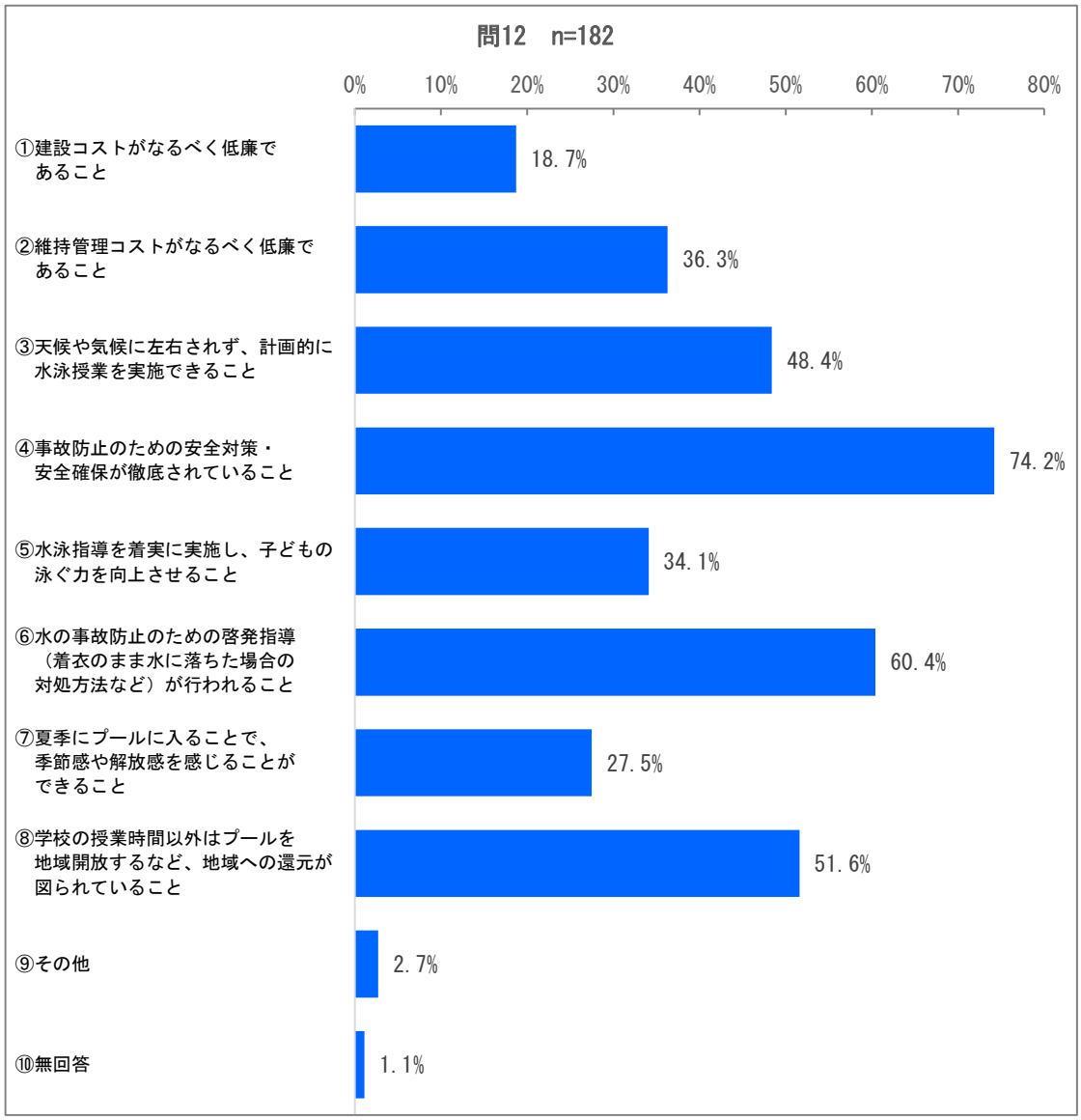
○ グリーンインフラが流行り物として形骸化せず、さまざまな視点からSDGsを考えバランスの取れたものとして、生活に根付くなら良いと思う。

○ グリーンインフラへの取り組みは、温暖化対策はもちろん、景観保護等の観点からも素晴らしいことと思います。積極的に推進していただきたいと思います。

特になし（全5件）

■「区立小学校プールの共同利用について」

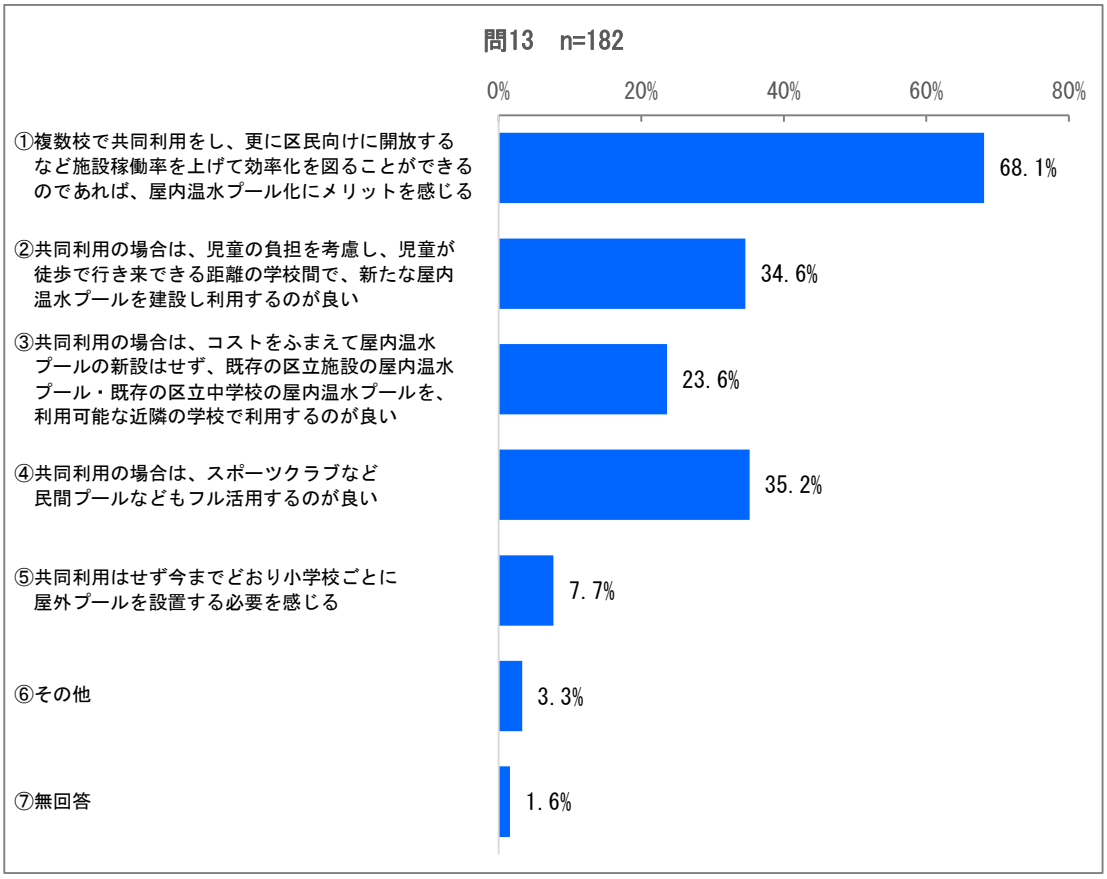
問 12　小学校プールの整備にあたり、重要と思うことはなんですか。
（○はいくつでも）



＜調査結果＞

小学校プールの整備にあたり、重要と思うことを聞いたところ、「事故防止のための安全対策・安全確保が徹底されていること」(74.2%)が 7 割半ばで最も高く、次いで、「水の事故防止のための啓発指導が行われること」(60.4%)、「学校の授業時間以外はプールを地域開放するなど、地域への還元が図られていること」(51.6%)などと続く。

問 13　小学校のプールを屋内温水プールとして整備した場合、屋外プールと比較し建設コスト が約 6 倍、年間の維持管理コストは約 5 倍かかる見込みです。一方で、建て替え時に徒歩で行き来できる距離の学校間で拠点となる学校に屋内温水プールを建設、複数校で共同利用し、更に授業時間外に区民向けに開放した場合、通年で計画的に水泳授業を実施することが可能となり、地域還元が図られるなどのメリットがあります。
このことについて、どのように思いますか。（○はいくつでも）



＜調査結果＞

小学校のプールを複数校で共同利用する屋内温水プール建設についてどのように思うかを聞いたところ、「施設稼働率を上げて効率化を図るのであれば、屋内温水プール化にメリットを感じる」(68.1%)が 7 割近くで最も高く、次いで、「共同利用の場合は、スポーツクラブなど民間プールなどもフル活用するのが良い」(35.2%)、「共同利用の場合は、児童が徒歩で行き来できる距離で新たな屋内温水プールを建設し利用するのが良い」(34.6%)などと続く。

問 14　問 13 で「5. 共同利用はせず今までどおり小学校ごとに屋外プールを設置する必要を感じる」と回答した方にお聞きします。
小学校ごと全校に屋外プールを設置する必要を感じると思う理由をお聞かせください。（記述式）

児童や教職員等の負担について（全 7 件）

（主な意見）

○ 指導者の負担や事故防止の為、体育の授業での校外活動は無理があるのではないかと思う。
○ 他校のプールを使用するために、大勢の児童を移動させることは、児童にも教職員にも負担をしいるので。
○ 真夏の暑い中、低学年の移動は難しいのでは。また、移動に時間を取られ、肝心の授業時間が確保できないのでは。

費用について（全 2 件）

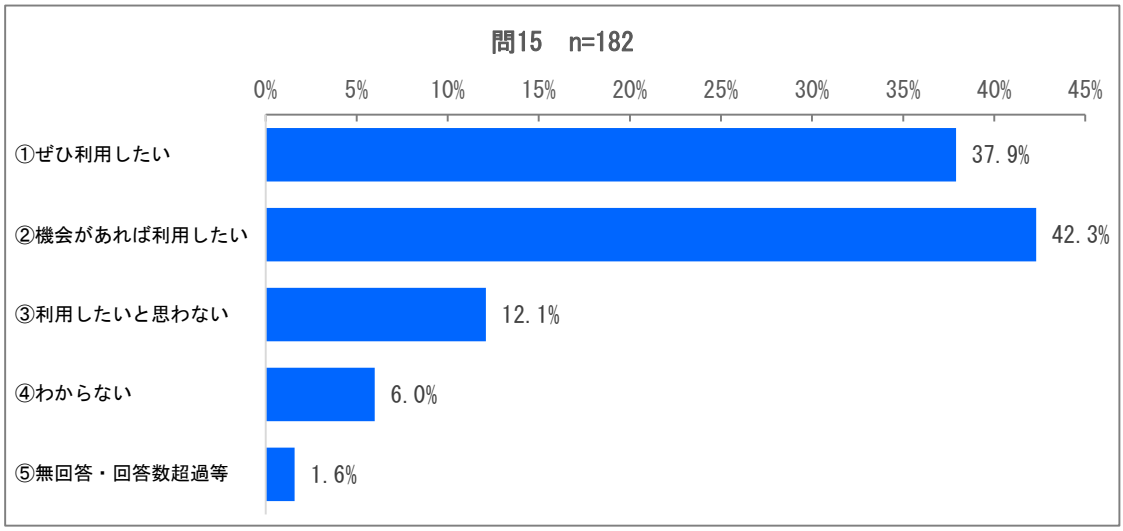
○ プールは皆習い事の一つとして行っているので、お金のかかるものでなくていいと思う。行けない子でプールを頑張りたい子に開放する程度であれば、一番コストのかからない方法が良いと思います。
○ 一般の方も利用できるようにするには、更衣室や体の洗い場なども設置する必要になるため、さらなる投資が増えるので、宜しくないと思います。

その他（全 5 件）

（主な意見）

○ プールの水は災害時の防火水槽の意味合いもあるので、各校に設置した方が良いと思う。近年、水の事故が多発している事もあり学校で一定レベルの泳力を指導すべき
○ 外で泳ぐことの気持ち良さを感じるのも大事だと思うから。自分が子供の時は、室内のプールよりも、屋外のプールの方が好きで、楽しさを感じていたから。
○ 共同ではなく、学校ごとの方が把握しやすい気がする。

問 15　現在は区内 4 つの中学校に屋内温水プールがあり、授業時間外などには一般開放しています。自宅近くの小学校（または中学校）に新たに屋内温水プールができたら利用してみたいですか。（○は 1 つ）



＜調査結果＞

自宅近くの小学校（または中学校）に新たに屋内温水プールができたら利用してみたいかを聞いたところ、「ぜひ利用したい」(37.9%)と「機会があれば利用したい」(42.3%)と合わせて、「利用したい」は 80.2%と 8 割となった。

問 16　学校プールの整備や、学校プールの区民利用について、あなたのお考えをお聞かせください。（記述式）

▼区民利用について

安全面・衛生面について（全 13 件）

（主な意見）

○　学校プールを区民が利用するにあたって、児童・生徒の安全確保が図られるかどうかが心配です。雑多な利用者の中に不審者やよからぬことを考える人がいないが心配。

○　区民利用については、きれいに維持・管理をきちんとしてくれる人員が必要。

利用方法について（全 13 件）

（主な意見）

○　オムツがまだ外れていない子でも利用できたりする日があれば嬉しいです。

○　スポーツジムなどのように夜間に利用できると若者のスポーツ促進になるのではないかと考えます。

利用料について（全 10 件）

（主な意見）

○　少子化が進む中で、学校のプール維持は大変になっていくと思う。地域住民にも開放することで、使用料を取り、維持費に充当することも一案だと思う。

○　安い料金で区民利用ができれば、利用したいと考えるようになる。

区民プールを利用したい（全 8 件）

（主な意見）

○　学校プールの区民開放はありがたいです。近くにあると行く方が増えるのではないかなと思います。

○　地域のプールが解放されていると、子供も遊びに行きやすく助かるので区民利用はぜひ進めて頂きたいと思います。

その他（全 24 件）

（主な意見）

○ 高齢化している区民の健康維持のためにも、可能な限り多くの学校プールを区民に開放していただきたい。

○ 大人は学校のプールではなく、利用したいのなら民間プールやホテルを利用するのが望ましいと思う。

▼学校プールの整備について

プールの機能について（全 21 件）

（主な意見）

○ 全校に屋外プールが設置され、維持管理もされているのに、猛暑のためプール授業中止が多く、もったいないと感じます。今後も温暖化は避けられない現状から、順次屋外から屋内プールに移行することに賛成です。

○ 現在の学校プールは、夏であっても気温や水温で利用できないこともある。室内プールで一年を通して授業できることのほうが、子供たちにも良い。

費用面について（全 10 件）

（主な意見）

○ 建設コストが高騰する中、屋内温水プールの維持管理費を含めて、ランニングコストを勘案し、整備することが望ましいと思います。

○ 共同利用前提であるとしても新たに学校に温水プールを作るのではなく、まずは学校近隣の民間プールがあればその利用を検討することを優先して、コスト削減を図るのが良いと思います。

民間施設の活用について（全 5 件）

（主な意見）

○ 新しいものを造ることも大事だが、今あるものを有効活用するのも大事だと思う。例えば、民間のスポーツクラブのプールはまさに格好の提携先になるのではないか。一部利用からでも進めると良いかと思う。

○ 既にある施設や民間施設を積極的に利用して欲しい。

その他（全 12 件）

（主な意見）

○ 最近は暑すぎて外での体育やプール活動も危険で、使用頻度が少なくなると思うので、無理に全校に屋外プールを設置する必要は無いと思う。

○ 必要以上の新設プールはいらないと思います。維持費もかなりかかると思います。

▼その他

共同利用について（全 17 件）

（主な意見）

○ 児童の安全を最優先に、先生方の負担もなるべく軽くなるような運用を考えていただきたいです。

○ 猛暑日のコンクリートは熱く、屋外はこれから危険かもしれません。屋内プールで、かつコストがかかるので共同で、という流れは必然かと思います。

水泳授業について（全 16 件）

（主な意見）

○ 日本人がほとんど泳ぐことを身につけているのは世界からしたらとても貴重なことであり、それは各小学校にプールがあればこそだと思う。

○ 財源が湯水のようにあるわけではなく、建設コストや維持管理コストを考えれば、必要最低限の授業があればいいのではないかと思います。

その他（全 14 件）

（主な意見）

○ 地元に根付いたプール活用や、世代を超えたプール活用により、地域のコミュニティも活性化するなら、将来に向けて、循環可能な世代交代にもつながるのではないかと、希望を持って、期待しております。

特になし（全 3 件）